



受賞番号 081079

仕様
長さ89×幅51×厚さ14.5mm(クリップ高さ5.3mm)、重さ約37g、外装はABS樹脂製。2つの温度センサが設定時刻より10分毎に6時間計測。CR2032コイン電池2個使用。電池寿命は約3ヶ月。

キッズデザイン大賞

経済産業大臣賞

衣服内温度計「らん's ナイト」

キューオーエル株式会社



面倒だった基礎体温計測の

手間を軽減する、

少子化対策へ向けた画期的製品。

受賞理由

キッズデザインの理念の一つである「子どもを産み育てやすいデザイン」を具体化させた特筆すべき製品である。地方企業の技術開発努力と優れたデザインも合わせて評価した。女性の基礎体温計測の負担軽減という、身近でありながら代替案が存在しなかった社会的課題を克服するための製品開発に長年取り組み、実現させた熱意を高く評価したい。こうした視点を持ち続けることがキッズデザインの考え方の拡大に寄与すると確信している。

審査員のコメント

女性の基礎体温測定は毎朝苦勞して検温する必要があった。本製品は就寝時に装着するだけで計測が可能になり、物理的負担を大幅に軽減することに成功している。デザインも秀逸であり、少子化問題対策の技術による具体的効果と目撃感。

開発の考え方

女性の健康のパロメーターと謳われつつ毎朝の計測がたいへんな従来の基礎体温計測にかわり、眠っている間に自動的に自分のからだのリズムをとらえたい！という、現代女性のニーズを反映した新しい計測方法です。簡便な計測に加え、携帯電話から非接触通信でサーバーにデータを蓄積でき、セルフケアに最適な製品です。





キューオーエル株式会社のオフィス。女性社員が多く、女性の身体の悩みに気づく機会も多かった(左)。「らん'sナイト」は従来にないアイデアで、計測の負荷を下げる(右上)。右下の写真は宮島正子社長(右)と北沢真澄取締役(左)。

製品だ。社長の宮島正子氏は、「最近、体の不調を訴える女性が増えていること、せっかく仕事を覚えたのに妊娠していることに気づかず、仕事を辞めざるを得なかった女性社員がいたことを身をもって体験しました。女性が自分の健康を管理するためのキーとして基礎体温に注目したのです」と開発の動機を語ってくれた。

女性の基礎体温を測る器具は多数発売されているが、毎朝同じ時間に口の中の体温を測定するという点では同じである。この方法は女性にかなりの負担を強いるため、測定を断念させる大きな理由になっている。

らん's ナイトは全く違うアプローチを試みた。寝巻きやジャージの腰の位置に取り付けるだけで就寝中に自動的に計測してくれる衣服内温度計を開発したのである。計測したデータは簡単にQRコード化され、携帯電話で読み取るとサーバーに送られる。時系列に基礎体温を管理できるため、容易に健康管理ができるようになった。

現代では3〜4人に一人は女性特有の健康トラブルの予備軍と言われ、月経困難症による経済的損失はある試算によると年間1兆円と言われている。背景には現代の社会環境だけでなく、一昔前までの女性は出産の回数が多かったこと、初潮が遅かったことなどから生涯の月経回数が50回くらいだったが、現在の女性の生涯月経回数が500回と10倍にも増えていることがある。継続して基礎体温を測ることは、妊娠や不調な女性のためでなく、健康

な女性が自分をコントロールするためにも必要なことなのである。

こうした思いから開発に取り組み始めた宮島社長であったが、同社の事業はもともと情報業務。医療や健康産業に関わりもなければ、物品としての商品を扱ったこともない。商品開発には苦勞したが検証には特に力を入れた。専門家の力を借り、14歳から48歳の女性のモニターをお願いして医学的にも十分な裏付けがあるデータを丁寧に採り続けた。

販売までには8年を要した。中小企業としてはリスキーな挑戦でもあったが、それでもやり続けたのは「仕事を続けながら、子どもを産み育てる現代の女性を応援したい」という思いからだ。

「10歳から60歳までのすべての女性に使用して欲しい。歯磨きをしたり、顔を洗ったりするのと同じように、当たり前で自分の体のことがわかるようになってほしいと思います」と宮島社長。マスコミに取り上げられることも増えたが、ブームに終わらせられることなく丁寧に売っていきたいと考えている。

「この器具を作ったことで、これまで調べることでできなかった女性の健康データや生活データを得ることができるようになりました。その情報を分析し、女性に役立つアウトプットができれば、それが私の仕事だと思えます」。